

第52次夏期内陸ドーム旅行実施計画(案)

重点研究観測AJ3「氷期一間氷期サイクルから見た現在と将来の地球環境」
 一般研究観測AP1「南極からの赤外線・テラヘルツ天文学の開拓」
 モニタリング観測AMP4「南極氷床の質量収支モニタリング」
 公開利用研究「南極氷床コア分析と気候モデリングに基づく
 氷期・間氷期の気候変動メカニズムの解明」

参加メンバー(10名)

52次夏隊

気水圏雪水 L本山秀明、倉元隆之(極地研)、新堀邦夫(北大低温研)

南極天文 高遠徳尚(国立天文台ハワイ観測所)

52次夏隊同行者

公開利用研究・気水圏雪水 小端拓郎(極地研)

同行者 雪水 日下樓(北見工大大学院)、南極天文 沖田博文(東北大学大学院)

51次越冬隊

装備・フィールドアシスタント SL立本明広、機械 内田新二、医療 関田豊



第52次夏期内陸ドーム旅行実施計画(案)

目的

- 1)ドームふじ氷床深層コア持ち帰り200梱程度(残り200梱は54次隊で実施)
- 2)ドームふじ基地での120m程度の浅層掘削及びフィルンエーサンプリング
- 3)ドームふじ基地深層掘削孔の検層観測
- 4)浅層掘削孔のフィルンのCO2濃度測定と氷温プロファイル測定(公開利用研究)
- 5)ルート沿いの雪尺、雪尺網観測、降積雪サンプリング
- 6)雪氷・気象観測
- 7)無人気象観測装置(+無人磁力計のデータ回収及び保守)
- 8)ルート沿いGPS観測
- 9)南極天文観測
口径40cm赤外線望遠鏡と赤外線撮像装置、2連小型望遠鏡とCCDカメラ、口径25cm固定望遠鏡とCCDカメラ、小型近赤外線分光装置、自動発電モジュール・装置モジュール(PLATO)、音波式大気乱流プロファイラー(SNODER)、気象用20m伸縮ポール、イリジウム通信装置、全天カメラ
- 10)医学的研究
- 11)次世代の内陸装備調査
- 12)ドームふじ基地発電機の立ちあげ・運用、車輛・そりの運用
- 13)その他





